

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年11月11日

上場会社名 株式会社 鴨川グランドホテル
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 健史
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 四野宮 章
 四半期報告書提出予定日 平成20年10月14日

上場取引所 JQ

TEL 03-3633-3715

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	2,440	—	133	—	81	—	58	—
20年3月期第2四半期	2,677	△3.1	211	△0.8	154	0.1	88	△14.7

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	5.59	—	—	—
20年3月期第2四半期	8.48	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	7,870	1,307	1,307	1,272	16.6	67.74	67.74	
20年3月期	8,179	1,272	1,272	1,272	15.6	63.00	63.00	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 1,307百万円 20年3月期 1,272百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(A種優先株式)の配当の状況については、2ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,690	△7.7	200	△41.8	95	△60.8	100	△36.9	9.58

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	10,453,920株	20年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	14,769株	20年3月期	14,321株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第2四半期	10,439,479株	20年3月期第2四半期	10,441,317株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳及び配当金総額は下記のとおりです。

(基準日)	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間
A 種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20 年 3 月期	—	0.00	—	11.94	11.94
21 年 3 月期	—	0.00			11.00
21 年 3 月期 (予想)		—	—	11.00	11.00

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱、原油や原材料価格の高騰、円高等が企業収益や家計を圧迫し、景気に一段の減速感が高まってまいりました。

一方、リゾートホテル業界におきましても、原油や原材料の高騰が予想を上回り、海外、国内旅行を問わず、旅行需要は厳しい状況が続いております。また、レストラン業界も原油高に始まる一連の値上がりの影響や消費者の節約志向等の影響もあり厳しさは依然として続いております。

そのような中で当社は、第 3 次中期経営改善計画の柱である販売力強化に努めてまいりました。第 1 四半期におきましては、鴨川グランドホテルが前年度にレストラン新築及びコンベンション・洋室の改装効果で宿泊、婚礼ともに順調に推移いたしました。ホテル西長門リゾートが更なる競争力強化のため客室の全面改装を行った影響により稼働率が低下いたしました。このような状況の中、最大需要期の第 2 四半期を迎えましたが、ガソリン価格の高騰等の影響により個人需要が伸び悩み、厳しい状況が続きました。また、世界的な金融市場の混乱の中、ビジネスホテルも法人需要が停滞する厳しい環境となりました。

その結果、売上高は 2,440 百万円、営業利益 133 百万円、経常利益 81 百万円となりました。四半期純利益は、道路拡幅工事による土地収用に係る特別利益の発生と収用土地の売却損等により 58 百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

第 2 四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ 308 百万円減少しました。主な要因は、流動資産では現金及び預金の減少 164 百万円、固定資産では土地の減少 123 百万円などによるものであります。

負債総額は、前事業年度末に比べ 344 百万円減少しました。主な要因は、流動負債では未払金の減少 163 百万円、固定負債では社債の減少 100 百万円などによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ 35 百万円増加し、1,307 百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

第 2 四半期における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ 164 百万円減少し、449 百万円となりました。第 2 四半期における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益に、減価償却費、固定資産売却損等の計上により 264 百万円の収入となりました。一方、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により 266 百万円の支出となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済及び社債の償還により 162 百万円の支出となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

現時点における通期の予想につきましては、第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案して業績予想の見直しを行いました。

詳細は、平成20年11月7日付にて開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

これによる損益への影響はありません。

（追加情報）

平成20年度の法人税の改正に伴い、機械及び装置については、従来耐用年数を7年としておりましたが、第1四半期会計期間より13年に変更しております。

これにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は、それぞれ1,118千円増加しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	当第2四半期会計期間末 （平成20年9月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成20年3月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	449,718	614,355
受取手形及び売掛金	169,469	205,827
有価証券	10,000	10,000
商品	—	4,148
原材料	19,337	17,053
貯蔵品	41,257	36,211
未収入金	53,819	16,202
その他	105,851	101,120
貸倒引当金	△6,567	△6,601
流動資産合計	842,886	998,318
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,596,433	12,565,572
減価償却累計額	△7,834,711	△7,764,375
建物（純額）	4,761,722	4,801,196
構築物	559,173	554,872
減価償却累計額	△470,454	△466,480
構築物（純額）	88,719	88,392
機械及び装置	267,261	261,871
減価償却累計額	△229,686	△235,520
機械及び装置（純額）	37,574	26,350
車両運搬具	51,859	51,859
減価償却累計額	△49,128	△49,014
車両運搬具（純額）	2,731	2,845
工具、器具及び備品	970,211	970,021
減価償却累計額	△831,487	△849,372
工具、器具及び備品（純額）	138,723	120,649
土地	1,087,708	1,210,783
リース資産	7,686	—
減価償却累計額	△272	—
リース資産（純額）	7,413	—
建設仮勘定	—	19,700
有形固定資産合計	6,124,592	6,269,917
無形固定資産	38,054	25,145
投資その他の資産		
投資有価証券	111,467	124,654
差入保証金	409,219	409,285
保険積立金	290,779	288,996
その他	50,511	57,144
貸倒引当金	△7,075	△8,135
投資その他の資産合計	854,903	871,945
固定資産合計	7,017,550	7,167,008
繰延資産		
社債発行費	10,125	14,120
繰延資産合計	10,125	14,120
資産合計	7,870,563	8,179,448

（単位：千円）

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,720	129,258
短期借入金	3,641,150	3,652,550
1年内返済予定の長期借入金	179,200	179,200
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払金	63,934	227,226
未払費用	240,865	222,177
未払法人税等	10,328	14,709
未払消費税等	13,155	791
賞与引当金	35,800	35,802
その他	124,011	151,937
流動負債合計	4,639,167	4,813,652
固定負債		
社債	500,000	600,000
長期借入金	481,150	517,550
繰延税金負債	13,113	19,062
退職給付引当金	94,416	90,010
役員退職慰労引当金	58,295	54,144
長期預り保証金	770,695	806,345
その他	6,550	6,650
固定負債合計	1,924,221	2,093,761
負債合計	6,563,388	6,907,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	165,792	121,791
自己株式	△3,232	△3,112
株主資本合計	1,287,909	1,244,027
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,265	28,005
評価・換算差額等合計	19,265	28,005
純資産合計	1,307,174	1,272,033
負債純資産合計	7,870,563	8,179,448

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業収益	2,440,756
営業費用	2,307,185
営業利益	133,570
営業外収益	6,599
営業外費用	
支払利息	45,647
その他	13,285
営業外費用合計	58,933
経常利益	81,237
特別利益	
店舗移転補償金	88,406
特別利益合計	88,406
特別損失	
固定資産売却損	81,497
固定資産除却損	24,985
特別損失合計	106,483
税引前四半期純利益	63,160
法人税、住民税及び事業税	4,831
四半期純利益	58,329

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	63,160
減価償却費	135,006
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,093
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,406
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,151
支払利息	45,647
社債利息	4,160
社債発行費償却	3,994
店舗移転補償金	△26,526
固定資産売却損益 (△は益)	81,497
固定資産除却損	24,985
売上債権の増減額 (△は増加)	36,358
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,181
前払費用の増減額 (△は増加)	2,262
未収入金の増減額 (△は増加)	1,386
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,462
未払金の増減額 (△は減少)	△17,389
未払費用の増減額 (△は減少)	18,778
未払消費税等の増減額 (△は減少)	12,702
前受金の増減額 (△は減少)	△27,682
預り金の増減額 (△は減少)	412
預り保証金の増減額 (△は減少)	△35,650
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△100
その他	△5,354
小計	323,396
利息及び配当金の受取額	648
利息の支払額	△49,920
法人税等の支払額	△9,802
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△296,892
固定資産の売却による収入	29,100
投資有価証券の取得による支出	△749
差入保証金の差入による支出	△278
その他の支出	△1,783
その他の収入	3,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266,711

（単位：千円）

	当第2四半期累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△11,400
長期借入金の返済による支出	△36,400
社債の償還による支出	△100,000
自己株式の取得による支出	△119
配当金の支払額	△14,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162,247
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△164,637
現金及び現金同等物の期首残高	614,355
現金及び現金同等物の四半期末残高	449,718

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用方針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

[参考資料]

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間損益計算書

科 目	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金 額 (千円)
I 営業収益	2,677,085
II 営業費用	2,465,950
営業利益	211,134
III 営業外収益	7,334
IV 営業外費用	63,749
経常利益	154,719
V 特別利益	—
VI 特別損失	61,207
税引前中間純利益	93,512
法人税、住民税及び事業税	4,980
中間純利益	88,532

(2) 中間キャッシュ・フロー計算書

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	93,512
減価償却費	135,289
減損損失	23,305
貸倒引当金の増加・減少(△)額	130
賞与引当金の増加・減少(△)額	61
退職給付引当金の増加・減少(△)額	14,193
役員退職慰労引当金の増加・減少(△)額	4,782
支払利息	52,597
社債発行費償却	3,994
固定資産除却損	31,713
売上債権の減少・増加(△)額	14,561
たな卸資産の減少・増加(△)額	△2,873
前払費用の減少・増加(△)額	5,349
未収入金の減少・増加(△)額	△404
仕入債務の増加・減少(△)額	26,191
未払金の増加・減少(△)額	△14,423
未払費用の増加・減少(△)額	13,434
未払消費税等の増加・減少(△)額	△16,762
前受金の増加・減少(△)額	△30,721
預り金の増加・減少(△)額	353
預り保証金の増加・減少(△)額	△48,430
その他の固定負債の増加・減少(△)額	△150
その他	△2,992
小計	302,715
利息及び配当金の受取額	595
利息支払額	△46,319
法人税等の支払額	△9,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	247,753

	前中間会計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月30日)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産取得による支出	△80,196
投資有価証券の取得による支出	△799
差入保証金に係る支出	△170
差入保証金の回収による収入	120,902
その他の投資に係る支出	△419
その他の投資の回収による収入	8,831
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,148
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増加・減少(△)額(純額)	△16,700
長期借入金の返済による支出	△42,000
社債の償還による支出	△100,000
自己株式の取得による支出	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,817
IV 現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	137,084
V 現金及び現金同等物の期首残高	539,018
VI 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	676,102